

戸田市防災基本条例検討市民会議（第2回）

「第2回戸田市防災基本条例検討市民会議」が令和元年11月19日(火)に開催され、水害時の避難等について意見交換を行いました。

- 台風19号の被害等や市民意識調査の集計結果（速報値）について、事務局より説明を行いました。次いで、鍵屋会長（跡見学園女子大学教授）から、水害時の避難や対策事例等についてお話をいただきました。
- その後、5グループに分かれ、ワークショップ形式で「水害時の早期避難」について意見交換をしました。
- 各自でフセンに意見を書き出した後、模造紙にフセンを貼り、意見交換をしながら分類しました。
- 途中、テーブルを移動して、別の参加者とも意見交換を行って議論を深めました。
- 元のテーブルに戻った後、出された意見から良いと考えるものを3案程度にまとめ、A4用紙に書き出しました。
- 最後に、他グループの意見を見てまわり、良いと思った意見にシールを貼りました。



- 各グループの主な意見は次のとおりです。

Bグループ (23枚)	昼の明るいうちに準備をすませておく 警報が出る前に情報発信を行う（情報収集を行う） 避難場所を水害に対応できる所にする
Oグループ (36枚)	当人の意識と準備（避難を拒む人の対策） 避難所の設備を公開する（医療、介護、どう過ごせるのか） 「防災訓練」ではなく楽しい人の集まるイベントに防災を組み込む
Sグループ (34枚)	「大丈夫だろう」という勝手な思い込みはすてる 避難訓練にちゃんと参加する 早めの避難、早めの声かけ 日頃からご近所とコミュニケーションをとって情報共有していく（共助）
Aグループ (27枚)	避難場所へ「早く」、今回の経験を動機づけ 要支援の方とのつながりをもつ。障がい者の把握 避難所に行くのが大変→6F以上のマンションを避難所に活用
Iグループ (38枚)	台風上陸とわかったら早い避難所開設（早いうちに避難、雨風が強くなる前に） 日頃からのご近所づきあい→ママ友の和、コミュニケーション、防災の話題 高齢者・障がいのある方にやさしい避難所作り

※（枚）はシール枚数。